

====支部だより====

北海道支部で主催した講演会と研究発表会の報告

I. 北海道支部講演会

北海道支部では、函館市の後援と函館海洋気象台の協力を得て、昭和63年10月14日に函館市民会館において後援会を開催した。

今回は、「渡島半島周辺の風」がテーマで、4人の講師により下記の講演が行われた。

講演内容が地域に密着した現象を取り扱っていたこと、および市の積極的な広報活動もあって、地方自治体の防災関係者や一般市民、それに学生など150名余が集まった。

最後、映画「台風」を上映して講演会を終えた。

記

1. 台風12号(1987年)による渡島半島の強風
酒井 重典(函館海洋気象台予報課長)
2. 台風12号(1987年)が函館地方の植物にあたえた塩風害について
上平 幸好(函館大学生物学研究室教授)
3. 津軽海峡の風と波
松本 秀雄(函館海洋気象台予報官)
4. 地形と風
花房 龍男(札幌管区気象台技術部長)

II. 昭和63年度北海道支部第2回研究発表会

昭和63年度北海道支部第2回研究発表会が去る11月15日に札幌管区気象台を会場として行われた。当日の発表題目は下記の通りである。

題目からも窺い知れるように、力学・オゾン・雲物理をはじめ海氷・石狩湾小低・大雪などバラエティにとんだ内容の研究発表会であった。

質疑討論も活発で時間の経つのも忘れるほどであった。

記

1. 海水成長に伴う海洋熱流量の変化
*牛尾収輝, 小野延雄, 若土正暁(北海道大学低温科学研究所)
2. オゾン分光観測における煙霧の影響について
金戸 進(札幌管区気象台)
3. 気象雑音検知による豪雪の早期予知について
浅利英吉(北海道東海大学工学部)
4. 札幌の雪は早朝に多く降るのか?
*立花義裕, 若浜五郎(北海道大学低温科学研究所)
5. ドップラーソーダーで見た札幌市の下層大気の構造—冬期, 夜間の冷気流について—
*大本隆太郎(北海道大学環境研究科), 上田博, 菊地勝弘(北海道大学理学部)
6. 季節風時に現れる帯状エコーの併合と分離
*小林文明, 菊地勝弘, 上田博(北海道大学理学部)
7. 縄状エコーの解析
*木部俊一郎, 松本崇司(札幌管区気象台)
8. ステレオ写真とレーダーから得られた積乱雲の形態の変化
*城岡竜一, 上田博, 藤井雅晴, 岩波越(北海道大学理学部)
9. 吹雪による雪面模様形成の風洞実験
*小杉健二, 西村浩一, 前野紀一(北海道大学低温科学研究所)
10. 傾圧不安定波と基本場の相互作用の理論的研究
*石原洋(札幌管区気象台), 松田佳久(気象大学校)